

◆ 埼玉県管内図 ◆

(平成23年3月現在)



◆ 本県の位置と面積 ◆

県庁所在地 (平成14.6.3測量)	さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号 東経139°39′ 北緯35°51′ 標高15m32
管内経緯度極点 (平成22.4.1現在)	東 三郷市 東経139°54′ 西 秩父市 東経138°42′ 南 新座市 北緯35°45′ 北 児玉郡上里町 北緯36°17′
面積 (平成17.10.1現在)	3,797.30km ²

資料：埼玉県公共測量基準点、国土地理院HP、「国勢調査」総務省統計局

◆ 市町村合併の状況 ◆

合併期日	新市町名(合併関係市町村)	計	市	町	村
平成13年5月1日	さいたま市 (浦和市、大宮市、与野市)	90	41	39	10
17年1月1日	飯能市 (飯能市、名栗村)	89	41	40	8
4月1日	さいたま市 (さいたま市、岩槻市) 秩父市 (秩父市、吉田町、大滝村、荒川村)	85	40	39	6
10月1日	熊谷市 (熊谷市、大里町、妻沼町) 鴻巣市 (鴻巣市、吹上町、川里町) 春日部市 (春日部市、庄和町) ふじみ野市 (上福岡市、大井町) 小鹿野町 (小鹿野町、両神村)	78	40	33	5
18年1月1日	行田市 (行田市、南河原村) 深谷市 (深谷市、岡部町、川本町、花園町) 神川町 (神川町、神泉村)	73	40	30	3
1月10日	本庄市 (本庄市、児玉町)	72	40	29	3
2月1日	ときがわ町 (都幾川村、玉川村)	71	40	30	1
19年2月13日	熊谷市 (熊谷市、江南町)	70	40	29	1
22年3月23日	久喜市 (久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町) 加須市 (加須市、騎西町、北川辺町、大利根町)	64	40	23	1

資料：県地域政策課HP



I 自然と人口

項目	データ	全国順位
(面積)		
面積	3,797.30km ²	39
林野面積	122,806ha	41
自然公園面積	124,583ha	14
面積1km ² 当たり人口密度	1,857.7人	4
面積中の可住地面積割合	67.6%	2
(気候)		
年平均気温	15.5℃	27
降水量(年間)	1,111.5mm	40
快晴日数	51日	1
(人口)		
人口総数	7,054,243人	5
男	3,554,843人	5
女	3,499,400人	5
外国人	80,035人	6
年少人口(0~14歳)	986,361人	5
生産年齢人口(15~64歳)	4,892,253人	5
老年人口(65歳以上)	1,157,006人	6
生産年齢人口割合	69.4%	1
平均年齢	41.8歳	43
平均寿命(男)	79.05年	15
平均寿命(女)	85.29年	42
(人口変動)		
昼間人口	6,158,964人	5
昼夜間人口比率	87.5%	47
他都道府県からの転入者数	168,888人	3
他都道府県への転出者数	150,805人	4
出生数	59,725人	5
合計特殊出生率	1.28	39
死亡数	52,374人	6
(世帯)		
一般世帯数	2,630,623世帯	5
核家族世帯割合	64.4%	2
高齢単身世帯割合	5.5%	45
婚姻件数	39,399件	5
離婚件数	14,584件	4
平均初婚年齢(夫)	30.8歳	3
平均初婚年齢(妻)	28.9歳	3

～本編より抜粋～

1 自然・地形

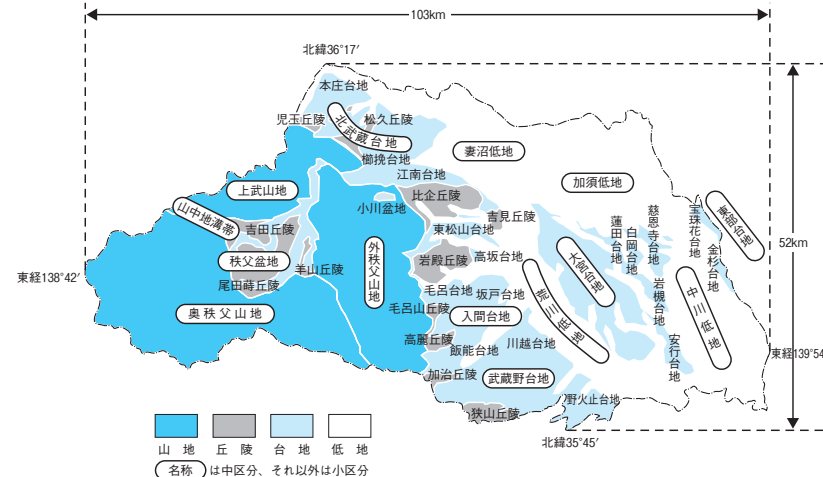
単 位	*1 林野面積		*2 自然公園面積		*3 自然環境保全地域面積		*4 河川延長・一級河川(指定区間外含む)	
	ha	順位	ha	順位	ha	順位	km	順位
全 国	24 860 941		5 417 970		76 402.53		87 958.1	
北海道	5 568 179	1	865 629	1	5 957.83	3	10 174.9	1
青森県	630 080	9	114 570	18	1 230.17	16	1 081.0	34
岩手県	1 156 424	2	71 939	29	2 135.45	11	2 140.7	14
宮城県	412 980	21	171 199	8	7 817.32	2	2 112.4	15
秋田県	836 420	6	123 777	15	703.92	21	2 738.1	8
山形県	643 324	8	155 810	10	5 105.96	6	2 923.3	6
福島県	943 104	4	179 124	6	4 867.41	7	3 438.5	4
茨城県	187 627	39	90 896	20	645.21	22	1 892.9	20
栃木県	343 345	27	133 443	13	4 672.26	8	2 732.2	9
群馬県	406 290	22	88 970	21	5 327.21	4	2 904.5	7
埼玉県	122 806	41	124 583	14	518.24	24	1 642.5	25
千葉県	162 217	40	28 537	43	1 773.75	15	512.6	41
東京都	74 410	46	79 889	27	405.30	26	734.6	38
神奈川県	94 628	44	55 138	32	11 198.00	1	331.7	42
新潟県	810 142	7	316 891	2	2 008.42	13	3 604.6	3
富山県	239 480	35	119 754	17	623.78	23	1 168.9	32
山梨県	279 581	32	52 494	33	1 050.50	17	316.9	43
石川県	310 796	30	61 432	31	273.12	29	1 099.5	33
福井県	349 577	26	121 153	16	2 144.33	10	2 055.6	17
長野県	1 022 013	3	278 522	3	790.42	19	5 070.4	2
岐阜県	844 354	5	195 093	5	2 956.87	5	3 261.6	5
静岡県	497 090	16	83 779	25	5 185.52	9	1 627.0	26
愛知県	219 639	37	88 838	22	261.08	30	1 393.0	30
三重県	374 362	24	201 896	4	463.40	25	1 745.9	22
滋賀県	205 710	38	149 957	12	-	-	2 318.2	12
京都府	342 976	28	25 738	45	221.87	33	1 555.3	27
大阪府	57 847	47	19 092	47	38.33	43	672.2	39
兵庫県	562 626	14	166 015	9	398.30	27	1 768.4	21
奈良県	284 188	31	63 328	30	92.10	40	1 650.0	24
和歌山県	362 626	25	50 309	34	329.39	28	602.0	40
鳥取県	257 158	33	49 060	35	153.70	37	1 034.2	36
島根県	528 382	15	40 497	40	178.74	36	2 288.1	13
岡山県	489 875	17	80 664	26	101.33	39	2 543.8	10
広島県	621 467	10	37 853	42	2 054.12	12	2 424.6	11
山口県	434 679	20	42 667	38	-	-	209.8	44
徳島県	312 432	29	38 706	41	39.00	42	1 520.1	28
香川県	87 625	45	20 534	46	88.02	41	87.2	46
愛媛県	400 040	23	41 121	39	1 914.37	14	1 944.4	18
高知県	594 341	11	47 504	36	4.70	45	1 927.6	19
福岡県	222 654	36	88 107	23	134.11	38	1 300.2	31
佐賀県	110 041	43	26 884	44	243.93	31	1 076.8	35
長崎県	246 499	34	74 092	28	733.12	20	136.4	45
熊本県	464 943	18	155 636	11	182.01	35	1 734.5	23
大分県	456 488	19	174 849	7	16.16	44	2 074.4	16
宮崎県	587 641	13	91 919	19	183.97	34	1 508.5	29
鹿児島県	589 871	12	85 812	24	229.00	32	878.1	37
沖縄県	111 964	42	43 864	37	950.79	18	-	-

資料出所
 *1 「農林業センサス」農林水産省
 *2 「環境統計集」環境省HP
 *3 「環境統計集」環境省HP
 *4 「河川管理統計」国土交通省

調査時点又は期間
 平成17年2月 1日
 平成22年3月31日
 平成21年3月31日
 平成21年4月30日

調査周期
 5年
 毎年
 毎年
 毎年

埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図(1975村本達郎氏による)

県土の3分の1が林野

本県は関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「農林業センサス」によると、林野面積は122,806haで県土の32.3%を占めています。このうち、現況森林面積は122,535haで、県土保全・水資源のかん養・保健休養など貴重な役割を担っています。

県土の3分の1が自然公園

「環境統計集」によると、平成22年3月31日現在、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所124,583haが指定されており、県土の32.81%を占めています。また、自然環境保全地域として、518.24haが指定されています。

国土交通省によると、県内の一級河川延長は1,642.5kmで、全国第25位でした。県内の一級河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

※表*2の自然公園面積は、国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園の合計面積で再測定面積のため、都道府県別値の計は全国値と一致しません。

～川幅日本一！～

平成20年2月、国土交通省の調査で、吉見町と鴻巣市の境を流れる荒川の川幅が2,537mで、日本一であることが確認されました。普段の川面幅は数十m程度ですが、河川数を含めた両岸の堤防間を「川幅」とする国土交通省の定義により、吉見町(堤防)と鴻巣市(御成橋のたもと付近)の川幅が日本一となりました。

県ではこの場所に、高さ5mの「川幅日本一の標柱」を設置し、PRしています。

資料：国土交通省荒川上流河川事務所



2 面積

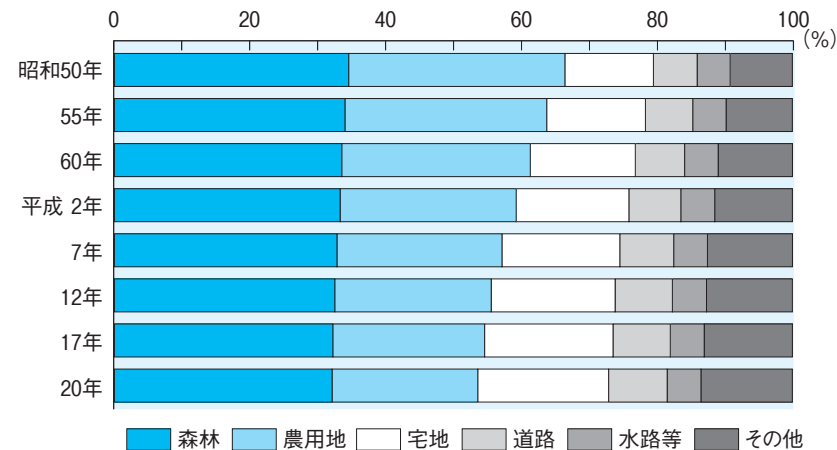
単 位	*1 総面積 (北方地域及び竹島を含む)		*2 総面積1km ² 当たり 人口密度		*3 総面積中の人口集中 地区面積割合		*4 総面積中の 可住地面積割合	
	km ²	順位	人	順位	%	順位	%	順位
	全 国	377 914.78		342.7		3.32		32.6
北海道	83 455.73	1	71.8	47	0.96	43	27.9	31
青森県	9 606.88	8	149.5	40	1.65	34	33.4	22
岩手県	15 278.71	2	90.7	46	0.56	47	24.3	40
宮城県	7 285.60	16	324.0	19	3.22	17	43.0	14
秋田県	11 612.22	6	98.6	45	0.75	45	27.2	33
山形県	9 323.39	9	130.4	42	1.22	42	30.6	27
福島県	13 782.75	3	151.7	39	1.30	40	30.6	27
茨城県	6 095.68	24	488.1	12	3.82	13	65.2	4
栃木県	6 408.28	20	314.7	22	2.84	21	46.0	12
群馬県	6 363.16	21	318.1	21	3.11	19	36.1	17
埼玉県	3 797.30	39	1 857.7	4	17.83	4	67.6	2
千葉県	5 156.68	28	1 174.5	6	12.06	6	67.6	2
東京都	2 186.96	45	5 750.7	1	48.91	1	63.8	5
神奈川県	2 415.84	43	3 639.1	3	39.04	3	60.4	6
新潟県	12 583.32	5	193.2	34	1.80	30	35.6	18
富山県	4 247.39	33	261.7	25	2.37	26	43.6	13
石川県	4 185.46	35	280.5	23	2.49	25	33.0	23
福井県	4 189.25	34	196.1	32	1.78	32	25.5	36
山梨県	4 465.37	32	198.1	31	1.43	36	21.3	44
長野県	13 562.23	4	161.9	38	1.30	40	24.5	39
岐阜県	10 621.17	7	198.4	30	1.68	33	20.2	45
静岡県	7 780.03	13	487.5	13	5.34	11	35.1	20
愛知県	5 164.02	27	1 404.9	5	17.38	5	57.3	7
三重県	5 776.68	25	323.2	20	3.12	18	35.0	21
滋賀県	4 017.36	38	343.6	17	2.55	24	32.1	25
京都府	4 613.00	31	574.0	10	5.58	9	25.0	37
大阪府	1 894.31	46	4 654.6	2	47.61	2	69.5	1
兵庫県	8 394.92	12	666.0	8	6.71	8	32.9	24
奈良県	3 691.09	40	385.1	14	3.80	14	23.0	42
和歌山県	4 726.08	30	219.2	29	1.93	29	23.2	43
鳥取県	3 507.25	41	173.1	37	1.35	39	26.0	35
島根県	6 707.56	19	110.7	44	0.63	46	18.7	46
岡山県	7 112.73	17	275.2	24	2.78	22	31.1	26
広島県	8 477.92	11	339.3	18	3.62	15	26.6	34
山口県	6 111.91	23	244.2	28	3.39	16	28.7	30
徳島県	4 145.33	36	195.4	33	1.36	38	24.7	38
香川県	1 876.41	47	539.5	11	4.11	12	52.9	10
愛媛県	5 677.12	26	258.5	26	2.66	23	29.4	29
高知県	7 105.01	18	112.1	43	0.81	44	16.4	47
福岡県	4 976.12	29	1 014.8	7	11.25	7	55.1	8
佐賀県	2 439.58	42	355.1	16	2.12	27	54.9	9
長崎県	4 094.76	37	361.1	15	2.93	20	39.7	15
熊本県	7 404.83	15	248.8	27	1.99	28	37.1	16
大分県	6 339.32	22	190.8	35	1.79	31	27.9	31
宮崎県	7 734.77	14	149.1	41	1.46	35	23.7	41
鹿児島県	9 187.69	10	190.8	36	1.40	37	35.3	19
沖縄県	2 274.59	44	598.6	9	5.54	10	51.1	11

資料出所
*1~3 「国勢調査」総務省統計局
*4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間
平成17年10月1日
平成20年10月1日

調査周期
5年
毎年

利用形態別土地面積構成比



資料：「埼玉の土地」県土地水政策課

面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の本県の面積は3,797.30km²(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km²当たりの人口密度は1,857.7人で、前回調査(平成12年)と同じ全国第4位でした。

また、県内の全ての市と15の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は、17.83%で全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成20年10月1日現在の可住地面積の割合は、全国平均の約2倍の67.6%で全国第2位でした。

$$\text{人口集中地区面積割合} = \text{人口集中地区面積} \div \text{総面積} \times 100$$

$$\text{可住地面積割合} = \text{可住地面積} \div \text{北方地域及び竹島を除いた総面積} \times 100$$

※表*2の順位は、総務省統計局公表の順位です。

～市町村の面積～

「平成21年全国都道府県市区町村別面積調」によると、平成21年10月1日現在、全国の市の中で最も面積が小さいのは蕨市の5.10km²で、2番目に小さい市は鳩ヶ谷市の6.22km²でした。



おしえてコバトン

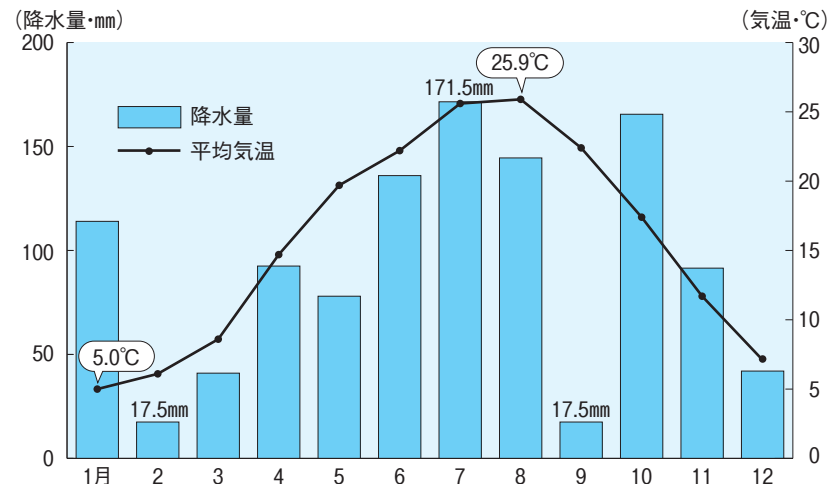
3 気象

単 位	*1 年平均気温		*2 降水量(年間)		*3 日照時間(年間)		*4 快晴日数(年間) 日平均曇量<1.5	
	℃	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国
北海道	9.4	47	1 147.0	39	1 604.4	39	8	44
青森県	10.6	45	1 459.5	28	1 563.7	43	7	47
岩手県	10.6	45	1 274.5	36	1 688.9	38	8	44
宮城県	12.9	41	1 303.5	32	1 726.2	34	9	41
秋田県	12.0	44	1 729.0	16	1 531.2	46	9	41
山形県	12.1	43	1 002.0	44	1 560.1	44	8	44
福島県	13.5	40	1 079.5	41	1 689.4	37	14	39
茨城県	14.2	38	1 461.0	27	1 868.0	26	40	6
栃木県	14.6	36	1 394.0	31	1 826.2	28	29	17
群馬県	15.1	28	986.0	46	2 027.5	11	34	10
埼玉県	15.5	27	1 111.5	40	1 950.2	20	51	1
千葉県	16.3	21	1 636.5	19	1 701.7	36	48	3
東京都	16.7	17	1 801.5	12	1 783.3	32	31	15
神奈川県	16.3	21	1 894.0	9	1 854.1	27	26	20
新潟県	14.1	39	1 792.5	14	1 586.2	42	9	41
富山県	14.6	36	2 224.0	3	1 559.8	45	18	31
石川県	14.8	34	2 292.0	2	1 702.8	35	13	40
福井県	14.7	35	2 067.0	5	1 600.0	40	21	30
山梨県	15.1	28	1 023.0	43	2 133.6	4	33	13
長野県	12.4	42	975.0	47	1 893.9	23	18	31
岐阜県	16.3	21	1 904.0	8	2 122.3	5	37	8
静岡県	17.0	10	2 350.5	1	2 096.6	6	42	4
愛知県	16.5	19	1 755.5	15	2 150.3	2	23	28
三重県	16.3	21	1 524.0	24	2 074.8	7	37	8
滋賀県	15.0	31	1 402.0	30	1 825.1	29	26	20
京都府	16.1	25	1 457.5	29	1 775.0	33	18	31
大阪府	17.1	8	1 165.0	38	2 000.6	14	18	31
兵庫県	17.1	8	1 197.5	37	2 046.8	10	17	35
奈良県	15.1	28	1 287.0	35	1 803.3	31	25	24
和歌山県	16.9	12	1 515.5	25	2 052.3	9	25	24
鳥取県	15.0	31	1 851.5	11	1 589.0	41	15	37
島根県	15.0	31	1 615.0	20	1 528.6	47	17	35
岡山県	16.6	18	1 074.0	42	1 995.8	17	29	17
広島県	16.4	20	1 486.5	26	1 996.1	16	25	24
山口県	15.8	26	2 016.5	7	1 882.8	24	34	10
徳島県	16.9	12	1 600.5	21	2 062.9	8	23	28
香川県	16.9	12	986.5	45	2 009.3	12	25	24
愛媛県	16.9	12	1 302.5	33	2 002.9	13	26	20
高知県	17.5	4	2 062.5	6	2 137.4	3	34	10
福岡県	17.3	7	1 692.0	18	1 807.0	30	27	19
佐賀県	16.9	12	1 704.5	17	1 947.0	21	39	7
長崎県	17.4	6	1 801.0	13	1 900.2	22	41	5
熊本県	17.5	4	1 565.5	22	1 985.3	18	31	15
大分県	17.0	10	1 294.5	34	1 999.4	15	26	20
宮崎県	17.8	3	2 219.0	4	2 172.4	1	49	2
鹿児島県	19.0	2	1 530.0	23	1 958.7	19	32	14
沖縄県	23.4	1	1 864.5	10	1 876.6	25	15	37

資料出所
*1~4「気象庁年報」気象庁

調査時点又は期間
平成21年
調査周期
毎年

月別平均気温・降水量(平成21年・熊谷)



資料：「気象庁年報」気象庁

夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、夏は高温多湿で雷の発生が多く、冬は低温乾燥で北西の季節風が強い内陸性の太平洋側気候です。地域別に気温の特徴をみると、北部から南部の東側にかけては、県内でも夏の気温が高い地域となっており、平成19年8月16日に多治見(岐阜県)とともに熊谷で国内最高気温の40.9℃、越谷でも40.4℃が観測されました。一方、秩父地方の盆地は、冬季夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低記録が観測されました。

年間快晴日数51日で全国第1位

「気象庁年報」によると、平成21年の熊谷の年平均気温は、平年値より0.9℃高い15.5℃、最高気温は7月15日の36.8℃、最低気温は1月16日の-3.6℃でした。また、年間降水量は平年値より131.7mm少ない1,111.5mmで、日最大降水量は10月8日の76.0mmでした。日照時間は平年値より57.0時間少ない1,950.2時間となり、快晴日数は51日で、前年より2日少ないものの全国第1位でした。

※表*1~4の各都道府県値は、都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、滋賀県は彦根の値としました。

※表*3中の「[]」は、参考値です。

～ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050～

地球温暖化問題が待ったなしの今、県では「再生したみどり」と川に彩られた低炭素な田園都市の集合体を目指し、2020年の温室効果ガス排出量を2005年より25%削減するという目標を定めました。

- ①本県独自の目標設定型排出量取引制度の創設を目指す。
 - ②快晴日数トップクラスという地域特性を生かし、太陽光発電の普及拡大に向けた対策を充実する。
 - ③深夜化するライフスタイル・ビジネススタイルを見直すとともに、みどりと川の再生を進める。
- など、全国的に見ても先進的な取組みを盛り込んでいます。



おしえてコバトン

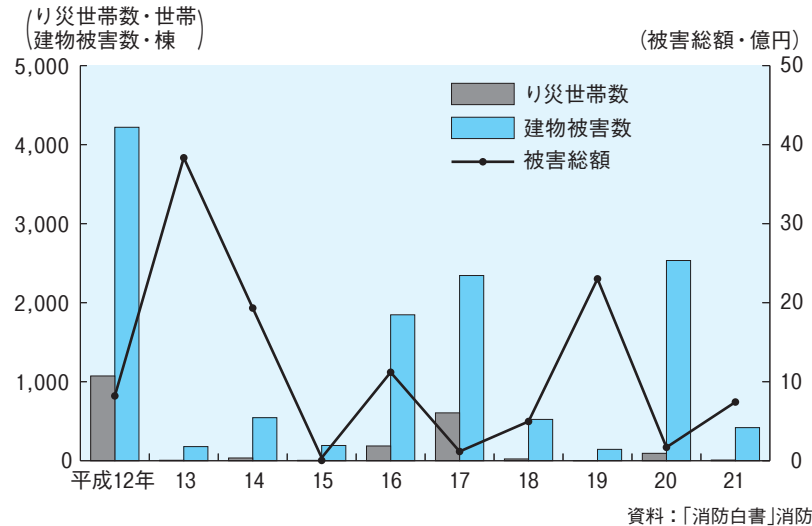
4 自然災害

単 位	*1 り災世帯数		*2 り災者数		*3 住家被害		*4 消防職員・団員 出動延人数	
	世帯	順位	人	順位	棟	順位	人	順位
全 国	12 516		30 508		85 794		240 890	
北海道	-	39	-	39	169	27	1 495	20
青森県	17	13	50	13	276	22	10 463	3
岩手県	-	39	-	39	717	12	3 480	11
宮城県	3	27	6	27	235	23	5 876	9
秋田県	8	20	30	14	50	37	477	32
山形県	-	39	-	39	365	19	3 342	12
福島県	38	11	108	11	398	17	1 073	25
茨城県	9	17	20	18	68	33	938	27
栃木県	3	27	5	29	583	13	290	34
群馬県	4	24	2	34	1 802	8	631	29
埼玉県	9	17	21	17	406	16	1 466	22
千葉県	29	12	59	12	327	21	84	40
東京都	11	15	16	19	188	26	1 010	26
神奈川県	-	39	-	39	140	28	1 932	17
新潟県	1	33	1	38	60	34	1 468	21
富山県	1	33	3	32	31	43	1 127	24
石川県	2	31	6	27	35	40	7	42
福井県	2	31	3	32	3	47	22	41
山梨県	115	10	340	9	513	14	-	43
長野県	4	24	11	23	76	32	-	43
岐阜県	6	21	16	19	9 281	2	1 511	19
静岡県	255	7	550	7	3 808	6	9 943	4
愛知県	232	8	236	10	419	15	2 656	14
三重県	-	39	-	39	5	45	-	43
滋賀県	9	17	11	23	395	18	2 688	13
京都府	-	39	-	39	42	38	153	38
大阪府	1 819	2	5 420	2	3 199	7	-	43
兵庫県	17	13	27	15	229	25	1 243	23
奈良県	704	5	1 442	5	4 551	5	297	33
和歌山県	-	39	-	39	5	45	272	36
鳥取県	4	24	11	23	232	24	1 701	18
島根県	345	6	912	6	746	11	2 072	16
岡山県	5	23	13	21	354	20	6 364	8
広島県	897	4	2 148	4	4 773	4	8 383	6
山口県	159	9	341	8	1 046	10	7 413	7
徳島県	-	39	-	39	52	36	5 440	10
香川県	1	33	2	34	57	35	2 099	15
愛媛県	6	21	12	22	36	39	-	43
高知県	1 522	3	3 382	3	5 581	3	21 103	2
福岡県	-	39	-	39	1 161	9	9 224	5
佐賀県	1	33	2	34	79	31	149	39
長崎県	11	15	25	16	108	29	589	31
熊本県	1	33	4	30	32	42	637	28
大分県	3	27	4	30	15	44	602	30
宮崎県	3	27	9	26	103	30	219	37
鹿児島県	1	33	2	34	35	40	274	35
沖縄県	6 259	1	15 258	1	43 008	1	120 677	1

資料出所
*1~4「消防白書」消防庁

調査時点又は期間
平成21年
調査周期
毎年

自然災害被害状況



県内で震度4を観測した地震は2回

「地震・火山月報(防災編)」によると、平成21年に国内で被害を伴った地震は6回で、死者・行方不明者を伴う地震は8月11日に発生した駿河湾の地震の1回でした。

本県の観測点で観測した震度1以上の地震は59回で、最大の震度は震度4(8月9日と12月18日)でした。

気象庁によると、平成21年中に発生した台風の数は22個(平年は26.7個)で平年を下回り、日本に上陸した台風(平年は2.6個)は1個でした。7月後半は梅雨前線の活動が活発となり、特に「平成21年7月中国・九州北部豪雨」では、中国地方から九州北部地方にかけ記録的な大雨となり、浸水害や土砂災害に見舞われました。

消防職員及び消防団員の出動延人数が増加

「消防白書」によると、平成21年の自然災害によるり災世帯数は9世帯、り災者数は21人、被害総額は7億4,302万円でした。

主な被害の内容は、重傷者4人、軽傷者27人、住家の一部破損76棟、床上浸水79棟、床下浸水249棟、河川26か所、崖くずれ18か所でした。

被害報告のあった災害に出動した消防職員及び消防団員の延人数は、前年より710人増加し、1,466人でした。

※表*3は、全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水の被害のあった住家の合計です。

～埼玉県地域防災計画～

平成19年度埼玉県地震被害想定調査では、首都直下地震である東京湾北部地震(マグニチュード7.3)が発生した場合、県内では、建物全壊34,447棟、死者数716人、避難者数は670,964人に上ることを想定しています。

県は、この地震で想定される避難者約67万人の3日分の食料・生活必需品等を、県、市町村、県民で備蓄することを目標として対策に取り組んでいます。

食糧等備蓄状況 (平成22年4月現在)

乾パン	アルファ米	乾燥がゆ	クラッカー	ほ乳びん
755,456食	383,900食	193,250食	228,498食	7,200食



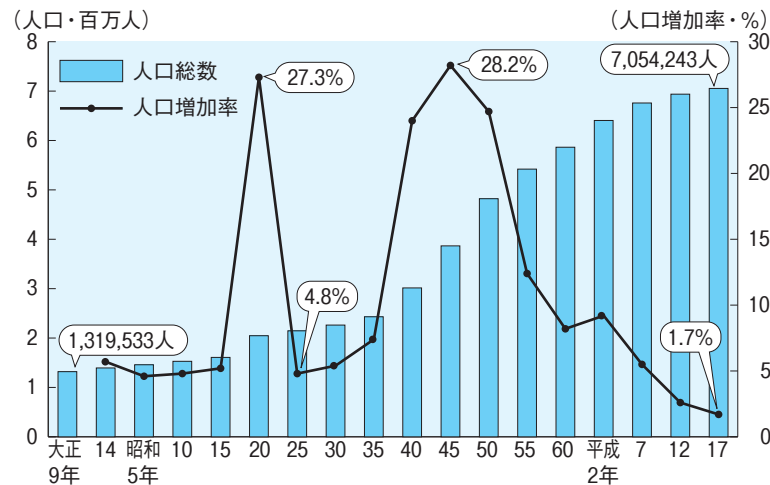
5 総人口

単 位	*1 人口総数		*2 男		*3 女		*4 外国人	
	人	順位	人	順位	人	順位	人	順位
全 国	127 767 994		62 348 977		65 419 017		1 555 505	
北海道	5 627 737	7	2 675 033	8	2 952 704	7	15 650	19
青森県	1 436 657	28	679 077	29	757 580	28	3 930	42
岩手県	1 385 041	30	663 580	32	721 461	30	5 367	37
宮城県	2 360 218	15	1 149 172	15	1 211 046	15	11 851	23
秋田県	1 145 501	37	540 539	37	604 962	37	3 635	44
山形県	1 216 181	33	585 023	33	631 158	34	6 383	34
福島県	2 091 319	18	1 016 724	18	1 074 595	18	10 065	27
茨城県	2 975 167	11	1 479 941	11	1 495 226	11	37 301	11
栃木県	2 016 631	20	1 002 114	19	1 014 517	21	26 322	17
群馬県	2 024 135	19	996 346	20	1 027 789	19	34 934	13
埼玉県	7 054 243	5	3 554 843	5	3 499 400	5	80 035	6
千葉県	6 056 462	6	3 029 486	6	3 026 976	6	73 116	7
東京都	12 576 601	1	6 264 895	1	6 311 706	1	248 363	1
神奈川県	8 791 597	3	4 444 555	2	4 347 042	3	115 412	4
新潟県	2 431 459	14	1 176 919	14	1 254 540	14	10 861	24
富山県	1 111 729	38	535 617	38	576 112	38	10 587	29
石川県	1 174 026	35	567 060	35	606 966	36	7 654	29
福井県	821 592	43	397 271	43	424 321	44	10 803	25
山梨県	884 515	41	433 569	41	450 946	42	13 564	21
長野県	2 196 114	16	1 068 203	16	1 127 911	16	34 764	14
岐阜県	2 107 226	17	1 020 570	17	1 086 656	17	36 793	12
静岡県	3 792 377	10	1 868 458	10	1 923 919	10	70 721	8
愛知県	7 254 704	4	3 638 994	4	3 615 710	4	150 115	3
三重県	1 866 963	22	907 214	22	959 749	23	34 249	15
滋賀県	1 380 361	31	681 474	28	698 887	31	22 750	18
京都府	2 647 660	13	1 272 993	13	1 374 667	13	46 044	9
大阪府	8 817 166	2	4 280 622	3	4 536 544	2	175 766	2
兵庫県	5 590 601	8	2 680 288	7	2 910 313	8	85 943	5
奈良県	1 421 310	29	676 375	30	744 935	29	8 848	28
和歌山県	1 035 969	39	488 022	39	547 947	39	5 021	38
鳥取県	607 012	47	290 190	47	316 822	47	3 853	43
島根県	742 223	46	353 703	46	388 520	46	4 464	40
岡山県	1 957 264	21	938 600	21	1 018 664	20	14 796	20
広島県	2 876 642	12	1 390 190	12	1 486 452	12	27 178	16
山口県	1 492 606	25	703 721	25	788 885	25	12 461	22
徳島県	809 950	44	384 635	44	425 315	43	4 206	41
香川県	1 012 400	40	486 108	40	526 292	40	6 008	35
愛媛県	1 467 815	27	691 677	26	776 138	27	6 773	32
高知県	796 292	45	374 435	45	421 857	45	2 927	47
福岡県	5 049 908	9	2 394 094	9	2 655 814	9	38 449	10
佐賀県	866 369	42	408 230	42	458 139	41	3 321	45
長崎県	1 478 632	26	691 444	27	787 188	26	5 675	36
熊本県	1 842 233	23	866 916	23	975 317	22	6 651	33
大分県	1 209 571	34	569 796	34	639 775	33	6 871	31
宮崎県	1 153 042	36	542 113	36	610 929	35	3 222	46
鹿児島県	1 753 179	24	819 646	24	933 533	24	4 906	39
沖縄県	1 361 594	32	668 502	31	693 092	32	6 897	30

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

人口と人口増加率(各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。
資料:「国勢調査」総務省統計局

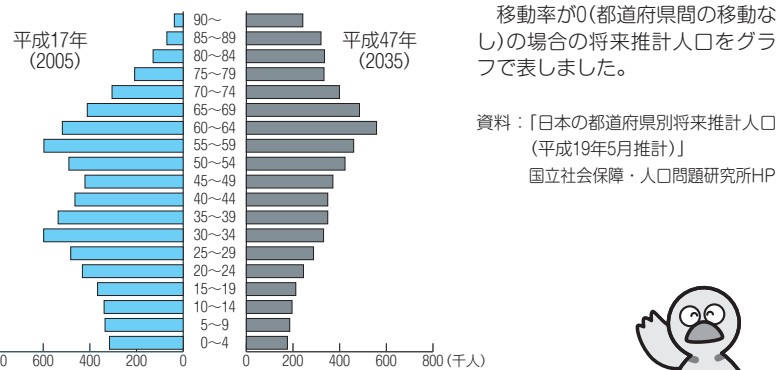
人口増加率は過去最低

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の人口は、前回調査(平成12年)より116,237人増加し、7,054,243人(男性3,554,843人、女性3,499,400人)で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いていますが、増加率は過去最低の1.7%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が102.2、次いで本県が101.6、愛知県が100.6、千葉県が100.1と4県で男性人口が女性人口を上回っています。

県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は80,035人で、前回調査に比べて17,624人(28.2%)増加しました。この結果、本県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.24ポイント上昇して1.13%でした。

~どうなってるかな? 埼玉県の将来推計人口~



移動率が0(都道府県間の移動なし)の場合の将来推計人口をグラフで表しました。

資料:「日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)」
国立社会保障・人口問題研究所HP



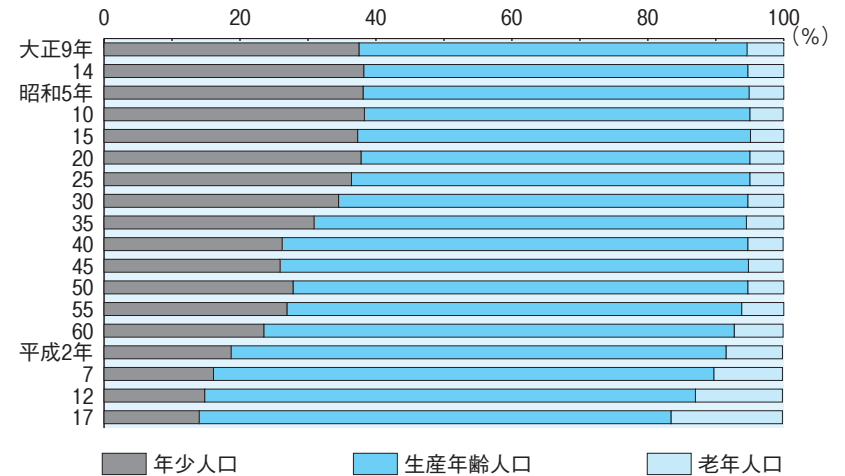
6 人口(年齢3区分別)

単 位	*1 年少人口 (0~14歳)		*2 生産年齢人口 (15~64歳)		*3 老年人口 (65歳以上)		*4 生産年齢 人口割合	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	17 521 234		84 092 414		25 672 005		65.8	
北海道	719 057	8	3 696 064	7	1 205 692	5	65.7	14
青森県	198 959	29	910 856	30	326 562	29	63.4	24
岩手県	190 578	32	850 253	32	339 957	28	61.4	42
宮城県	325 829	15	1 558 087	14	470 512	17	66.0	12
秋田県	142 507	39	694 288	38	308 193	31	60.6	46
山形県	166 653	34	739 030	35	309 913	30	60.8	45
福島県	307 294	17	1 307 734	20	474 860	16	62.5	30
茨城県	422 913	11	1 974 159	11	576 272	13	66.4	8
栃木県	285 245	20	1 336 513	18	390 896	24	66.3	10
群馬県	291 995	19	1 314 259	19	416 909	22	64.9	18
埼玉県	986 361	5	4 892 253	5	1 157 006	6	69.4	1
千葉県	819 348	6	4 154 600	6	1 060 343	8	68.6	4
東京都	1 424 667	1	8 695 592	1	2 295 527	1	69.1	3
神奈川県	1 184 631	3	6 088 141	2	1 480 262	3	69.2	2
新潟県	330 302	14	1 514 869	15	580 739	12	62.3	32
富山県	149 545	37	702 924	37	258 317	35	63.2	25
石川県	166 175	35	761 257	33	245 739	38	64.8	19
福井県	120 745	43	513 858	43	185 501	46	62.5	29
山梨県	127 627	42	562 495	41	193 580	45	63.6	23
長野県	316 368	16	1 356 317	17	521 984	15	61.8	40
岐阜県	305 845	18	1 357 583	16	442 124	18	64.4	21
静岡県	536 799	10	2 471 335	10	779 193	10	65.2	17
愛知県	1 069 498	4	4 901 072	4	1 248 562	4	67.6	5
三重県	266 741	22	1 197 255	22	400 647	23	64.1	22
滋賀県	213 147	27	916 572	27	249 418	37	66.4	7
京都府	345 071	13	1 755 447	13	530 350	14	66.3	9
大阪府	1 211 257	2	5 913 558	3	1 634 218	2	67.1	6
兵庫県	793 885	7	3 667 475	8	1 108 564	7	65.6	15
奈良県	197 136	30	938 702	25	283 528	33	66.0	11
和歌山県	142 670	38	642 428	39	249 473	36	62.0	34
鳥取県	84 823	47	375 539	47	146 113	47	61.9	36
島根県	100 542	46	439 471	46	201 103	42	59.2	47
岡山県	275 743	21	1 236 318	21	438 054	19	63.2	26
広島県	403 271	12	1 858 849	12	600 545	11	64.6	20
山口県	196 729	31	920 531	26	373 346	25	61.7	41
徳島県	105 814	44	506 642	44	197 313	43	62.6	28
香川県	139 505	40	635 746	40	235 508	39	62.8	27
愛媛県	200 270	28	914 747	28	351 990	26	62.3	31
高知県	102 421	45	487 367	45	206 375	41	61.2	43
福岡県	701 195	9	3 326 610	9	997 798	9	65.9	13
佐賀県	131 969	41	537 864	42	196 108	44	62.1	33
長崎県	215 987	26	913 224	29	348 820	27	61.8	39
熊本県	264 013	23	1 139 125	23	437 244	20	61.8	37
大分県	164 541	36	748 872	34	292 805	32	61.9	35
宮崎県	169 075	33	712 527	36	270 586	34	61.8	38
鹿児島県	252 285	25	1 065 960	24	434 559	21	60.8	44
沖縄県	254 203	24	888 046	31	218 897	40	65.2	16

資料出所 *1~4「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

年齢3区分別人口構成比(各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。
資料:「国勢調査」総務省統計局

減少する年少人口割合

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の年齢3区分別の人口は、年少人口が986,361人(本県の総人口の14.0%)、生産年齢人口が4,892,253人(同69.4%)、老年人口が1,157,006人(同16.4%)でした。

年少人口は、前回調査(平成12年)より38,426人減少し、昭和45年以降初めて100万人を割り込み、総人口に占める割合も大正9年の第1回調査以来、最も低くなりました。

生産年齢人口割合は全国第1位

生産年齢人口についても第1回調査以降初めて減少(前回調査比118,949人減)しました。また、総人口に占める割合は69.4%で前回調査に比べ2.8ポイント減少したものの、前回調査に続き全国第1位でした。

増加する老年人口割合

老年人口は、前回調査より267,763人増加し、総人口に占める割合は16.4%で前回調査に比べ3.6ポイント上昇しました。前回調査の老年人口の割合は全国第47位でしたが、今回、沖縄県を上回り全国第46位でした。

※表*4の順位は、総務省統計局公表の順位です。

~「埼玉県の人口を教えてください」~

「人口は、時点の違いや調査等の違いで変わります。」

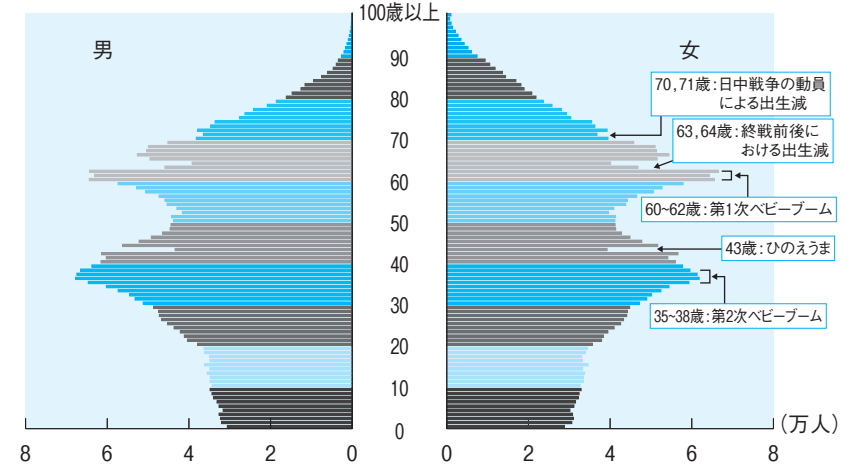
- ・国勢調査 全数調査で、5年に1度、10月1日現在の人口を公表。
総数=日本人+外国人
- ・人口推計 国勢調査人口を基礎にして、それ以降の人口増減を住民基本台帳及び外国人登録から調査し加減したもの。毎月1日現在の推計人口を月末に公表。
総数=日本人+外国人
- ・住民基本台帳人口 各市町村に備え付けてある住民基本台帳に記録されている人口。毎年3月31日現在の人口を公表。総数=日本人
- ・埼玉県町(丁)字別人口 住民基本台帳及び外国人登録から各市町村の協力を得て把握した人口。毎年1月1日午前零時現在の結果を公表。



7 年 齢

人口ピラミッド(平成22年1月1日現在)

単 位	*1 平均年齢		*2 年齢中位数		*3 平均寿命(男)		*4 平均寿命(女)	
	歳	順位	歳	順位	年	順位	年	順位
全 国	43.3		43.3		78.79		85.75	
北海道	44.4	21	45.4	21	78.30	33	85.78	25
青森県	44.7	18	46.3	18	76.27	47	84.80	47
岩手県	45.4	8	47.1	8	77.81	45	85.49	37
宮城県	42.8	39	42.8	38	78.60	27	85.75	26
秋田県	47.1	1	49.8	1	77.44	46	85.19	45
山形県	45.8	5	47.6	5	78.54	28	85.72	27
福島県	44.2	23	45.4	21	77.97	42	85.45	39
茨城県	43.1	35	43.5	34	78.35	30	85.26	43
栃木県	43.1	35	43.5	34	78.01	40	85.03	46
群馬県	43.6	30	44.0	31	78.78	22	85.47	38
埼玉県	41.8	43	41.2	42	79.05	15	85.29	42
千葉県	42.4	42	42.0	40	78.95	18	85.49	36
東京都	42.8	39	41.2	42	79.36	5	85.70	28
神奈川県	41.8	43	40.6	45	79.52	3	86.03	18
新潟県	45.2	12	46.7	12	78.75	23	86.27	9
富山県	45.3	11	46.6	13	79.07	12	86.32	7
石川県	43.7	29	44.1	28	79.26	8	86.46	6
福井県	44.3	22	45.1	24	79.47	4	86.25	11
山梨県	43.9	25	44.2	26	78.89	21	86.17	12
長野県	44.9	16	45.7	20	79.84	1	86.48	5
岐阜県	43.5	32	44.0	31	79.00	16	85.56	35
静岡県	43.6	30	44.1	28	79.35	6	86.06	16
愛知県	41.5	46	40.5	46	79.05	14	85.40	40
三重県	43.8	27	44.2	26	78.90	20	85.58	34
滋賀県	41.6	45	40.8	44	79.60	2	86.17	13
京都府	43.2	34	42.6	39	79.34	7	85.92	19
大阪府	42.6	41	41.9	41	78.21	36	85.20	44
兵庫県	43.1	35	43.1	36	78.72	24	85.62	33
奈良県	43.4	33	43.9	33	79.25	9	85.84	24
和歌山県	45.5	7	47.1	8	77.97	41	85.34	41
鳥取県	45.1	13	46.6	13	78.26	34	86.27	8
島根県	46.7	2	49.2	2	78.49	29	86.57	2
岡山県	44.2	23	44.9	25	79.22	11	86.49	4
広島県	43.8	27	44.1	28	79.06	13	86.27	10
山口県	46.1	4	48.5	4	78.11	38	85.63	32
徳島県	45.6	6	47.4	6	78.09	39	85.67	30
香川県	45.0	15	46.4	17	78.91	19	85.89	20
愛媛県	45.4	8	47.0	10	78.25	35	85.64	31
高知県	46.5	3	48.7	3	77.93	44	85.87	21
福岡県	42.9	38	42.9	37	78.35	31	85.84	23
佐賀県	43.9	25	45.2	23	78.31	32	86.04	17
長崎県	44.8	17	46.5	16	78.13	37	85.85	22
熊本県	44.7	18	46.0	19	79.22	10	86.54	3
大分県	45.4	8	47.3	7	78.99	17	86.06	15
宮崎県	44.7	18	46.6	13	78.62	26	86.11	14
鹿児島県	45.1	13	46.8	11	77.97	43	85.70	29
沖縄県	39.1	47	37.9	47	78.64	25	86.88	1



資料:「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」県統計課

全国で第4番目に若い県

「国勢調査」によると、平均年齢は、前回調査(平成12年)では沖縄県に次いで2番目に若い39.6歳でしたが、平成17年10月1日現在、2.2歳上昇して41.8歳となり、沖縄県、愛知県、滋賀県に続いて全国で4番目に若い県となりました。また、年齢中位数は41.2歳でした。

平均寿命の男女差は全国で最少

「都道府県別生命表」によると、平成17年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が79.05年、女性が85.29年で、30年前(昭和50年)より男性は7.17年、女性は8.68年上昇しました。平均寿命の男女差は6.24年(全国6.95年)で、全国でも小さくなりました。

30歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、平成22年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、30歳代が1,159,514人で総数の16.0%を占め最も多く、次いで60歳代が1,062,071人で同14.7%、40歳代が995,278人で同13.7%と続いています。

$$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{総人口}} + 0.5$$

※表*3,4の順位は、厚生労働省公表の順位です。

～市町村の平均年齢～

平成22年1月1日午前零時現在で調査した「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、昭和54年の調査開始以来、県民の平均年齢は一貫して上昇しています。市町村別にみると、県内で最も平均年齢が高い市町村は東秩父村の50.1歳で、最も平均年齢が低い市町村は戸田市の39.0歳でした。

単位: 歳

順位	平均年齢が高い	順位	平均年齢が低い
1	東秩父村 50.1	1	戸田市 39.0
2	鳩山町 48.4	2	和光市 39.4
3	長瀬町 48.2	3	伊奈町 40.1
4	皆野町 48.1	4	朝霞市 40.5
5	小鹿野町 48.0	5	吉川市 41.0



おしえてコバトン

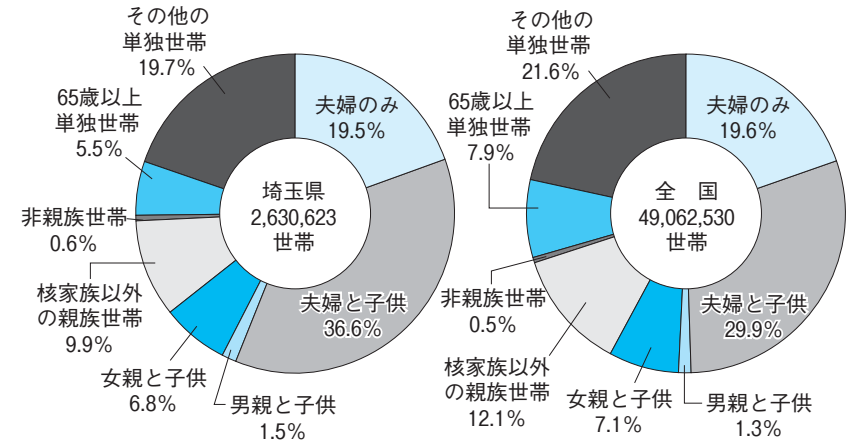
資料出所
*1,2 「国勢調査」総務省統計局
*3,4 「都道府県別生命表」厚生労働省

調査時点又は期間
平成17年10月1日
平成17年

8 世帯

家族類型別一般世帯構成比(平成17年10月1日)

単 位	*1 一般世帯数		*2 1世帯当たり人員 (一般世帯)		*3 核家族世帯割合 (一般世帯)		*4 高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	49 062 530		2.55		57.9		7.9	
北海道	2 368 892	6	2.31	46	58.9	18	9.0	15
青森県	509 107	28	2.75	18	54.2	35	8.2	23
岩手県	479 302	31	2.82	12	51.3	43	7.6	26
宮城県	858 628	14	2.70	24	52.8	38	5.9	42
秋田県	391 276	36	2.85	8	51.3	43	8.5	21
山形県	385 416	37	3.09	1	46.8	47	6.5	36
福島県	707 223	21	2.91	7	52.3	39	7.0	32
茨城県	1 029 481	13	2.84	10	58.3	20	5.5	45
栃木県	705 206	22	2.81	13	56.6	30	5.9	42
群馬県	724 121	18	2.75	19	60.1	11	6.7	34
埼玉県	2 630 623	5	2.64	27	64.4	2	5.5	45
千葉県	2 304 321	7	2.58	33	62.1	4	5.9	42
東京都	5 747 460	1	2.13	47	51.0	46	8.7	17
神奈川県	3 549 710	3	2.43	41	61.2	9	6.4	38
新潟県	812 726	15	2.93	5	51.9	41	6.5	36
富山県	370 230	40	2.93	4	53.4	37	6.8	33
石川県	423 157	35	2.70	23	53.9	36	7.1	30
福井県	267 385	45	3.00	2	52.0	40	6.7	34
山梨県	320 170	42	2.71	22	57.6	22	7.5	27
長野県	777 931	16	2.77	16	56.2	31	7.2	29
岐阜県	710 166	20	2.92	6	57.4	24	6.3	39
静岡県	1 346 952	10	2.77	17	56.8	27	6.1	41
愛知県	2 724 476	4	2.62	31	58.8	19	6.2	40
三重県	672 552	23	2.73	21	59.5	14	7.9	24
滋賀県	477 645	32	2.85	9	58.2	21	5.4	47
京都府	1 063 907	12	2.43	42	56.9	26	8.7	17
大阪府	3 590 593	2	2.40	43	60.4	10	9.5	9
兵庫県	2 128 963	8	2.58	34	62.7	3	9.1	13
奈良県	500 994	29	2.78	14	64.9	1	7.4	28
和歌山県	383 214	38	2.65	26	61.9	6	11.2	3
鳥取県	208 526	47	2.83	11	51.7	42	8.3	22
島根県	259 289	46	2.78	15	51.3	43	9.4	10
岡山県	724 474	17	2.63	29	56.8	27	8.7	17
広島県	1 131 024	11	2.47	37	59.6	13	9.1	13
山口県	588 736	25	2.46	40	59.7	12	11.2	3
徳島県	297 539	43	2.64	28	55.6	33	9.4	10
香川県	375 634	39	2.63	30	59.0	17	8.8	16
愛媛県	581 003	26	2.47	39	59.5	14	10.5	6
高知県	323 327	41	2.38	44	56.8	27	12.7	2
福岡県	1 984 662	9	2.47	38	57.2	25	8.7	17
佐賀県	286 239	44	2.94	3	55.2	34	7.9	24
長崎県	551 530	27	2.59	32	59.2	16	10.3	7
熊本県	664 338	24	2.69	25	56.2	31	9.2	12
大分県	465 195	33	2.52	35	57.6	22	10.2	8
宮崎県	449 269	34	2.50	36	61.3	8	10.6	5
鹿児島県	722 937	19	2.35	45	61.4	7	13.4	1
沖縄県	486 981	30	2.74	20	62.1	4	7.1	30



資料：「国勢調査」総務省統計局

増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の総世帯数は2,650,115世帯で、そのうち一般世帯数は2,630,623世帯、施設等の世帯数は2,471世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成12年)と比べると全ての都道府県で増加しており、本県も160,136世帯(6.5%)増加しました。

一般世帯の1世帯当たり人員は2.64人で、全国平均(2.55人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しました。1世帯当たり人員はすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,693,052世帯で一般世帯の64.4%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は512,288世帯(一般世帯の19.5%)、夫婦と子供から成る世帯は962,808世帯(同36.6%)でした。

高齢単身世帯は、前回調査より47.9%増加して143,923世帯で、一般世帯に占める割合は5.5%でした。

※表*2の順位は、総務省統計局公表の順位です。

◆家族類型別一般世帯数の推移◆

(単位：世帯・%)

	一般世帯数	親族世帯	うち		非親族世帯	単身世帯	親族世帯に占める核家族世帯の割合	一般世帯に占める核家族世帯の割合
			核家族世帯	その他の親族世帯				
1980	1,578,048	1,326,048	1,071,329		2,573	249,427	80.8	67.9
1985	1,745,952	1,456,147	1,184,422		2,965	286,840	81.3	67.8
1990	2,027,970	1,624,391	1,347,213		5,072	398,507	82.9	66.4
1995	2,278,736	1,782,171	1,502,520		7,761	488,804	84.3	65.9
2000	2,470,487	1,886,856	1,617,277		11,726	571,905	85.7	65.5
2005	2,630,623	1,953,313	1,693,052		14,668	662,642	86.7	64.4

(注) 一般世帯＝親族世帯＋非親族世帯＋単身世帯、親族世帯＝核家族世帯＋その他の親族世帯

資料：「国勢調査」総務省統計局

資料出所 *1～4 「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

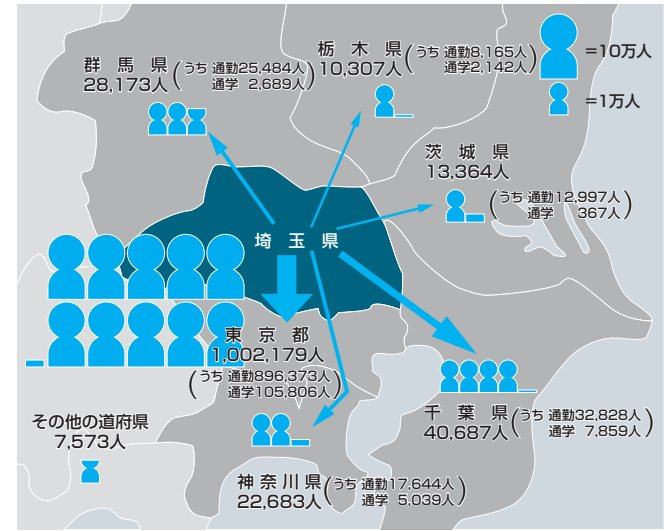
9 昼間人口

単 位	*1 昼間人口		*2 昼夜間人口比率		*3 流入人口		*4 流出人口	
	人	順位	%	順位	人	順位	人	順位
全 国	127 285 653		100.0		5 825 846		5 825 846	
北海道	5 619 202	6	100.0	18	4 119 44	44	5 741 42	42
青森県	1 435 322	28	99.9	23	6 607 41	41	7 675 36	36
岩手県	1 377 316	29	99.7	29	8 601 31	31	12 066 27	27
宮城県	2 356 573	15	100.1	13	21 299 21	21	19 164 25	25
秋田県	1 144 053	37	99.9	24	2 515 45	45	3 452 45	45
山形県	1 214 739	33	99.9	22	4 984 42	42	5 843 41	41
福島県	2 082 022	17	99.6	33	12 275 24	24	20 125 23	23
茨城県	2 885 594	11	97.0	40	77 026 9	9	165 143 9	9
栃木県	1 997 809	20	99.3	36	58 830 11	11	73 852 13	13
群馬県	2 020 684	18	99.9	27	58 670 12	12	61 011 16	16
埼玉県	6 158 964	5	87.5	47	255 851	4	1 124 966	2
千葉県	5 340 259	7	88.5	46	192 383	6	883 987	3
東京都	14 977 580	1	120.6	1	3 026 291	1	481 636	4
神奈川県	7 905 219	3	90.3	44	291 051	3	1 131 345	1
新潟県	2 428 268	14	100.1	11	6 983 38	38	4 618 44	44
富山県	1 107 974	38	99.7	30	6 625 40	40	9 436 31	31
石川県	1 177 115	35	100.3	5	11 927 26	26	8 009 35	35
福井県	821 456	43	100.2	8	6 770 39	39	5 429 43	43
山梨県	875 550	41	99.1	37	10 455 28	28	18 565 26	26
長野県	2 192 533	16	99.9	25	9 503 30	30	11 636 28	28
岐阜県	2 018 595	19	95.9	42	46 488 14	14	133 071 10	10
静岡県	3 783 248	10	99.9	26	34 586 17	17	38 659 18	18
愛知県	7 341 385	4	101.7	3	200 692 5	5	78 788 12	12
三重県	1 824 266	23	97.8	38	30 260 19	19	70 490 14	14
滋賀県	1 327 275	31	96.2	41	43 205 15	15	94 351 11	11
京都府	2 651 073	13	100.8	4	184 210 7	7	165 194 8	8
大阪府	9 241 468	2	105.5	2	740 010 2	2	257 416 6	6
兵庫県	5 298 677	8	95.1	43	133 887 8	8	403 921 5	5
奈良県	1 258 665	32	88.7	45	57 892 13	13	218 864 7	7
和歌山県	1 011 556	40	97.8	39	17 422 22	22	40 924 17	17
鳥取県	607 449	47	100.2	9	8 566 32	32	7 612 37	37
島根県	740 729	46	99.9	20	8 302 35	35	8 684 33	33
岡山県	1 948 832	21	99.9	21	22 174 20	20	23 783 21	21
広島県	2 872 032	12	100.3	6	33 722 18	18	24 263 20	20
山口県	1 482 350	25	99.4	35	14 601 23	23	22 753 22	22
徳島県	807 551	44	99.7	32	4 292 43	43	6 513 40	40
香川県	1 012 636	39	100.2	7	9 898 29	29	8 071 34	34
愛媛県	1 468 813	27	100.1	10	8 465 33	33	6 652 39	39
高知県	795 109	45	99.9	28	2 320 46	46	3 350 46	46
福岡県	5 030 396	9	100.1	12	68 747 10	10	63 892 15	15
佐賀県	866 003	42	100.0	15	36 379 16	16	36 560 19	19
長崎県	1 474 240	26	99.7	31	7 119 37	37	10 907 29	29
熊本県	1 832 633	22	99.6	34	12 220 25	25	19 906 24	24
大分県	1 207 316	34	100.1	14	10 784 27	27	9 655 30	30
宮崎県	1 152 158	36	100.0	16	7 499 36	36	7 527 38	38
鹿児島県	1 752 159	24	100.0	19	8 341 34	34	8 998 32	32
沖縄県	1 360 807	30	100.0	17	1 000 47	47	1 343 47	47

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

県外への通勤・通学者数(平成17年10月1日)



注)15歳以上。年齢不詳者を除く。
資料:「国勢調査」総務省統計局

県外への通勤・通学者は約9割が東京都へ

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成12年)より173,467人(2.9%)増加して6,158,964人で、全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,035,620人でした。昼夜間人口比率は87.5%で、前回調査に続き全国第47位でした。

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,910,900人で、そのうち県外に就業・通学している者(流出人口)は、1,124,966人でした。

県外への通勤・通学者は、東京都への1,002,179人(県外への通勤・通学者の89.1%)が最も多く、次いで千葉県への40,687人(同3.6%)、群馬県への28,173人(同2.5%)の順でした。

一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県に就業・通学している者(流入人口)は、255,851人でした。

県外からの通勤・通学者は、東京都からの146,698人(県外からの通勤・通学者の57.3%)が最も多く、次いで千葉県からの37,447人(同14.6%)、群馬県からの25,548人(同10.0%)の順でした。

～昼間人口とは～

昼間人口 A市の昼間人口=A市の常住人口-A市からの流出人口+A市への流入人口。
(買物客など非定期的な移動は含まれない。)

常住人口 調査時期に調査の地域に常住している人口。夜間人口。

昼夜間人口比率 常住人口100人当たりの昼間人口の割合。

$$A \text{ 市の昼夜間人口比率} = \frac{A \text{ 市の昼間人口}}{A \text{ 市の常住人口}} \times 100$$



おしえてコバトン

10 転入・転出

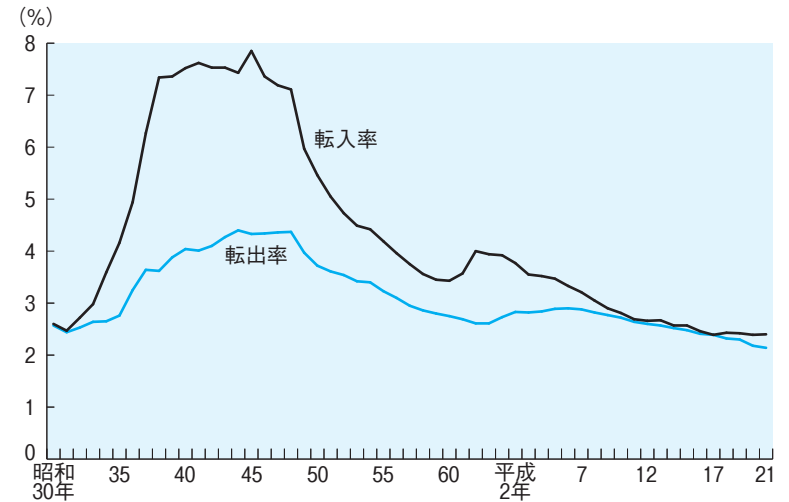
単 位	*1 他都道府県からの 転入者数		*2 他都道府県への 転出者数		*3 転入超過数		*4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 469 579		2 469 579		-		-	
北海道	51 598	12	63 776	9	▲ 12 178	47	▲ 0.22	31
青森県	20 700	32	27 299	28	▲ 6 599	45	▲ 0.48	47
岩手県	18 642	35	24 185	31	▲ 5 543	43	▲ 0.42	45
宮城県	49 058	14	50 985	14	▲ 1 927	18	▲ 0.08	12
秋田県	13 670	40	18 219	39	▲ 4 549	41	▲ 0.42	45
山形県	14 512	38	18 512	38	▲ 4 000	37	▲ 0.34	42
福島県	26 430	25	34 339	18	▲ 7 909	46	▲ 0.39	43
茨城県	53 268	11	51 546	13	▲ 1 722	6	▲ 0.06	6
栃木県	33 830	15	36 403	15	▲ 2 573	27	▲ 0.13	18
群馬県	28 499	20	30 381	24	▲ 1 882	15	▲ 0.10	16
埼玉県	168 888	3	150 805	4	18 083	4	0.26	3
千葉県	162 199	4	140 507	5	21 692	2	0.36	2
東京都	413 370	1	357 150	1	56 220	1	0.45	1
神奈川県	228 793	2	207 327	2	21 466	3	0.24	4
新潟県	24 544	29	29 005	26	▲ 4 461	39	▲ 0.19	24
富山県	12 964	41	14 896	42	▲ 1 932	19	▲ 0.18	22
石川県	18 194	36	19 064	36	▲ 870	12	▲ 0.08	12
福井県	9 391	47	11 681	47	▲ 2 290	25	▲ 0.29	39
山梨県	14 179	39	15 361	40	▲ 1 182	13	▲ 0.14	19
長野県	27 939	23	32 467	21	▲ 4 528	40	▲ 0.21	29
岐阜県	27 962	22	33 150	20	▲ 5 188	42	▲ 0.25	35
静岡県	57 844	9	60 982	10	▲ 3 138	32	▲ 0.08	12
愛知県	120 530	6	116 455	6	4 075	5	0.06	6
三重県	30 334	18	33 758	19	▲ 3 424	34	▲ 0.19	24
滋賀県	28 095	21	27 011	29	1 084	7	0.08	5
京都府	54 863	10	58 464	11	▲ 3 601	35	▲ 0.14	19
大阪府	159 651	5	161 924	3	▲ 2 273	22	▲ 0.03	11
兵庫県	97 234	8	97 031	8	▲ 203	10	0.00	10
奈良県	26 387	26	29 271	25	▲ 2 884	31	▲ 0.21	29
和歌山県	12 675	42	15 179	41	▲ 2 504	26	▲ 0.25	35
鳥取県	9 870	46	11 723	46	▲ 1 853	14	▲ 0.32	41
島根県	11 101	43	13 000	43	▲ 1 899	16	▲ 0.27	38
岡山県	29 712	19	32 346	22	▲ 2 634	28	▲ 0.14	19
広島県	49 757	13	52 964	12	▲ 3 207	33	▲ 0.11	17
山口県	24 863	28	27 584	27	▲ 2 721	30	▲ 0.19	24
徳島県	10 477	44	12 515	45	▲ 2 038	20	▲ 0.26	37
香川県	19 122	34	19 956	35	▲ 834	11	▲ 0.08	12
愛媛県	19 913	33	22 550	34	▲ 2 637	29	▲ 0.18	22
高知県	10 341	45	12 519	44	▲ 2 178	21	▲ 0.29	39
福岡県	104 136	7	103 667	7	469	9	0.01	9
佐賀県	16 948	37	18 857	37	▲ 1 909	17	▲ 0.22	31
長崎県	25 929	27	31 815	23	▲ 5 886	44	▲ 0.41	44
熊本県	30 520	17	34 781	17	▲ 4 261	38	▲ 0.24	34
大分県	21 193	31	23 473	33	▲ 2 280	23	▲ 0.19	24
宮崎県	21 696	30	23 982	32	▲ 2 286	24	▲ 0.20	28
鹿児島県	31 105	16	34 862	16	▲ 3 757	36	▲ 0.22	31
沖縄県	26 653	24	25 852	30	801	8	0.06	6

資料出所
*1~4 「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

調査時点又は期間
平成21年

調査周期
毎年

転入率と転出率



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

4年続く転入超過

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成21年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は、前年より1,264人増加して168,888人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く62,509人、次いで神奈川県から14,213人、千葉県から13,432人の順でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より1,947人減少して150,805人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く57,540人、次いで千葉県へ14,598人、神奈川県へ14,442人の順でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、平成18年から再び転入超過が続き、平成21年の転入超過数は18,083人で、転入超過率は0.26%でした。

◆自然増加の大きい都道府県◆

順位	自然増加数(人)	自然増加率(%)
1	愛知県 14,445	沖縄県 0.50
2	神奈川県 13,842	愛知県 0.20
3	東京都 8,392	滋賀県 0.16 (0.164)
4	埼玉県 7,325	神奈川県 0.16 (0.156)
5	沖縄県 6,936	埼玉県 0.10

◆社会増加の大きい都道府県◆

順位	社会増加数(人)	社会増加率(%)
1	東京都 53,262	東京都 0.42
2	神奈川県 23,287	千葉県 0.35
3	千葉県 21,676	埼玉県 0.27
4	埼玉県 19,490	神奈川県 0.26
5	福岡県 5,628	滋賀県 0.14

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成22年3月31日現在)」総務省HP

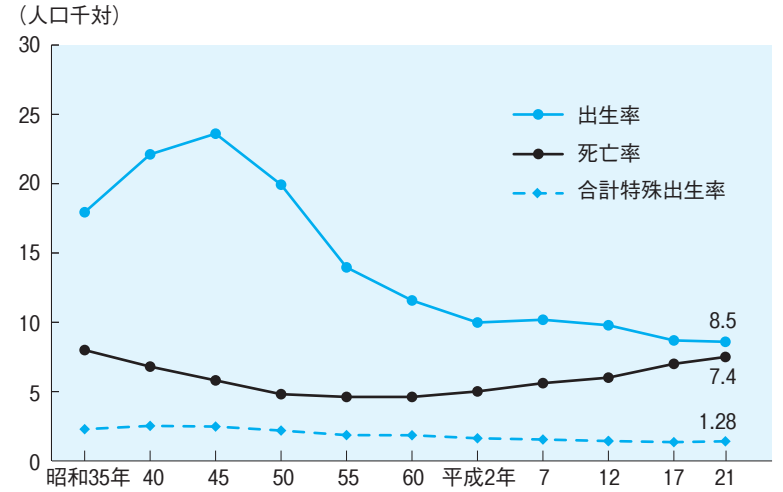
11 出生

単 位	*1 出生数		*2 出生率 (人口千対)		*3 自然増加率 (人口千対)		*4 合計特殊出生率	
	人	順位	—	順位	—	順位	—	順位
全 国	1 070 035		8.5		▲ 0.6		1.37	
北海道	40 165	9	7.3	44	▲ 2.4	31	1.19	46
青森県	9 523	35	6.9	46	▲ 4.3	43	1.26	42
岩手県	9 904	33	7.4	43	▲ 4.1	41	1.37	26
宮城県	18 988	14	8.2	29	▲ 0.8	13	1.25	43
秋田県	7 013	42	6.4	47	▲ 6.3	47	1.29	37
山形県	8 715	36	7.4	42	▲ 4.3	44	1.39	23
福島県	16 326	21	8.0	33	▲ 2.6	33	1.49	9
茨城県	24 209	12	8.3	27	▲ 1.2	20	1.37	26
栃木県	17 004	18	8.6	15	▲ 0.9	15	1.43	15
群馬県	16 310	22	8.3	28	▲ 1.6	25	1.38	25
埼玉県	59 725	5	8.5	20	1.0	5	1.28	39
千葉県	51 839	6	8.6	17	0.7	6	1.31	35
東京都	106 613	1	8.5	22	0.7	7	1.12	47
神奈川県	78 057	2	8.9	9	1.6	3	1.28	39
新潟県	17 948	15	7.6	39	▲ 3.0	38	1.37	26
富山県	8 426	37	7.8	36	▲ 2.8	35	1.37	26
石川県	9 849	34	8.5	18	▲ 1.2	19	1.40	21
福井県	7 042	41	8.8	10	▲ 1.4	23	1.55	5
山梨県	6 621	43	7.8	37	▲ 2.3	30	1.31	35
長野県	17 310	17	8.1	31	▲ 2.3	28	1.43	15
岐阜県	17 327	16	8.5	21	▲ 1.0	17	1.37	26
静岡県	31 901	10	8.6	14	▲ 0.6	12	1.43	15
愛知県	69 768	4	9.7	2	2.0	2	1.43	15
三重県	15 614	24	8.6	16	▲ 1.1	18	1.40	21
滋賀県	13 151	26	9.5	3	1.5	4	1.44	14
京都府	21 058	13	8.2	30	▲ 0.8	14	1.20	45
大阪府	75 250	3	8.7	12	0.2	8	1.28	39
兵庫県	47 592	7	8.6	13	▲ 0.2	10	1.33	34
奈良県	10 758	30	7.7	38	▲ 1.0	16	1.23	44
和歌山県	7 516	40	7.5	40	▲ 4.2	42	1.36	32
鳥取県	4 876	47	8.3	26	▲ 3.0	37	1.46	13
島根県	5 601	45	7.8	35	▲ 4.5	45	1.55	5
岡山県	16 387	20	8.5	19	▲ 1.3	22	1.39	23
広島県	25 596	11	9.0	5	▲ 0.5	11	1.47	12
山口県	11 312	29	7.8	34	▲ 3.9	40	1.43	15
徳島県	5 898	44	7.5	41	▲ 3.6	39	1.35	33
香川県	8 366	38	8.4	23	▲ 2.3	29	1.48	11
愛媛県	11 507	28	8.1	32	▲ 2.9	36	1.41	20
高知県	5 415	46	7.1	45	▲ 5.3	46	1.29	37
福岡県	46 084	8	9.2	4	0.2	9	1.37	26
佐賀県	7 518	39	8.9	8	▲ 1.5	24	1.49	9
長崎県	11 838	27	8.3	25	▲ 2.6	32	1.50	7
熊本県	16 221	23	9.0	7	▲ 1.3	21	1.58	3
大分県	9 961	32	8.4	24	▲ 2.2	27	1.50	7
宮崎県	10 170	31	9.0	6	▲ 1.6	26	1.61	2
鹿児島県	14 920	25	8.8	11	▲ 2.7	34	1.56	4
沖縄県	16 744	19	12.2	1	5.0	1	1.79	1

資料出所 *1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期
平成21年 毎年

出生率・死亡率及び合計特殊出生率



資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

減少が続く出生数

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成21年の出生数は前年より795人減少して、59,725人(男30,754人、女28,971人)で全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後若干の増減はありますが減少傾向にあります。

また、出生率は8.5で、前年より0.1ポイント下回りました。出生率は、第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年ころから10.0前後で推移していました。しかし、平成13年以降は低下が続き、平成18年は上昇したものの、平成19年から再び低下が続いています。

自然増加率は低下

自然増加率は1.0で、前年より0.3ポイント低下したものの、全国第5位でした。合計特殊出生率は前年と同率の1.28でした。

※表*1~3の全国値は住所が外国の者を含みます。

※表*2~4の比率算出に用いた日本人人口は、平成21年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。また、順位は、県保健医療政策課公表の順位です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増加率 自然増加数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15~49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当する。

~出生率の高い市町村は?~

平成21年の「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、人口千人に対する出生率で最も高率だったのは、伊奈町の12.6、次いで滑川町の12.3、戸田市の11.4でした。また、低率順にみると、ときがわ町の3.9、鳩山町の4.0、東秩父村の4.0の順でした。



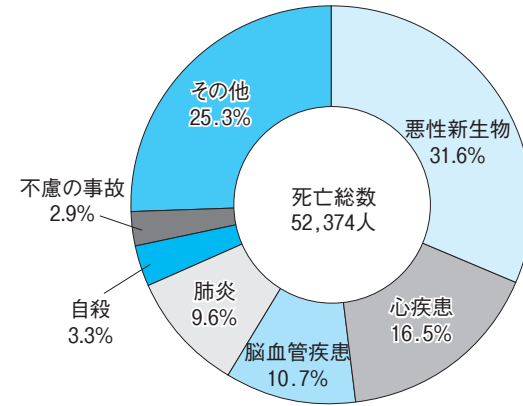
12 死亡

死因別死亡数構成比(平成21年)

単 位	*1 死亡数 (総数)		*2 死亡率 (人口千対)		*3 死亡数 (悪性新生物)		*4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 141 865		9.1		344 105		180 745	
北海道	53 221	5	9.7	28	17 287	4	8 728	4
青森県	15 387	29	11.2	10	4 516	27	2 474	28
岩手県	15 410	28	11.5	7	4 269	29	2 636	27
宮城県	20 808	17	9.0	36	6 240	15	3 292	17
秋田県	13 866	30	12.7	1	4 008	30	2 148	32
山形県	13 729	31	11.7	6	3 848	31	2 183	31
福島県	21 568	16	10.6	15	6 043	16	3 860	14
茨城県	27 807	11	9.5	31	8 074	11	4 394	12
栃木県	18 777	22	9.5	32	5 257	22	3 167	18
群馬県	19 421	19	9.9	25	5 516	19	3 142	20
埼玉県	52 374	6	7.4	45	16 531	6	8 655	5
千葉県	47 819	8	7.9	42	14 699	8	8 344	6
東京都	98 304	1	7.8	43	31 268	1	15 389	1
神奈川県	63 745	3	7.2	46	20 550	3	9 629	3
新潟県	25 148	13	10.6	16	7 641	13	3 814	15
富山県	11 480	36	10.6	17	3 349	37	1 566	40
石川県	11 246	37	9.7	27	3 391	34	1 752	38
福井県	8 187	46	10.3	22	2 344	45	1 392	43
山梨県	8 586	45	10.1	24	2 327	46	1 347	44
長野県	22 130	15	10.4	20	5 912	17	3 456	16
岐阜県	19 402	20	9.5	33	5 713	18	3 147	19
静岡県	34 209	10	9.2	34	9 769	10	5 125	10
愛知県	55 189	4	7.6	44	16 888	5	8 047	7
三重県	17 590	24	9.6	29	4 862	24	2 715	26
滋賀県	11 036	38	8.0	41	3 358	36	1 834	37
京都府	23 191	14	9.0	35	7 245	14	3 984	13
大阪府	73 135	2	8.5	40	24 170	2	11 711	2
兵庫県	48 864	7	8.9	38	15 589	7	7 520	8
奈良県	12 139	33	8.7	39	3 745	32	2 205	30
和歌山県	11 736	35	11.7	5	3 385	35	1 985	34
鳥取県	6 636	47	11.3	9	1 929	47	1 078	47
島根県	8 854	42	12.4	2	2 481	43	1 421	42
岡山県	18 948	21	9.8	26	5 298	20	2 850	24
広島県	26 992	12	9.5	30	7 749	12	4 430	11
山口県	16 995	25	11.8	4	4 759	25	2 804	25
徳島県	8 719	44	11.1	11	2 443	44	1 347	44
香川県	10 639	39	10.7	14	2 852	39	1 882	36
愛媛県	15 670	26	11.0	12	4 339	28	2 943	22
高知県	9 437	41	12.4	3	2 561	42	1 584	39
福岡県	44 879	9	9.0	37	14 312	9	5 584	9
佐賀県	8 831	43	10.4	21	2 668	40	1 256	46
長崎県	15 491	27	10.9	13	4 672	26	2 401	29
熊本県	18 505	23	10.2	23	5 228	23	2 889	23
大分県	12 528	32	10.6	19	3 532	33	1 892	35
宮崎県	11 959	34	10.6	18	3 342	38	2 049	33
鹿児島県	19 498	18	11.4	8	5 258	21	3 059	21
沖縄県	9 923	40	7.2	47	2 643	41	1 437	41

資料出所 *1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期
平成21年 毎年



資料：「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成21年の死亡数は前年より644人増加して、52,374人(男29,123人、女23,251人)で全国第6位でした。死亡率は前年と変わらず7.4でした。死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続き、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じました。

昭和56年以降死因第1位は、悪性新生物

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が16,531人(死亡総数の31.6%)と最も多く、次いで心疾患8,655人(同16.5%)、脳血管疾患5,629人(同10.7%)、肺炎5,050人(同9.6%)、自殺1,720人(同3.3%)、不慮の事故1,513人(同2.9%)の順でした。

また、年齢階級別に死因別割合をみると、10歳代までは不慮の事故、20歳代、30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなりました。

※表*1~4の全国計は住所が外国・不詳の者を含みます。

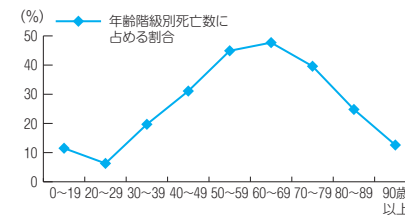
※表*2の順位は、県保健医療政策課公表の順位です。

※表*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成21年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。

~年齢階級別の死亡数に占める悪性新生物死亡割合~



「埼玉県の人口動態概況」によると、悪性新生物による死亡率(人口10万対)は234.8で、上昇が続いています。各年齢階級の死亡数に占める割合をみると、60~69歳が47.7%と最も多く、次いで50~59歳が44.9%、70~79歳が39.6%の順でした。



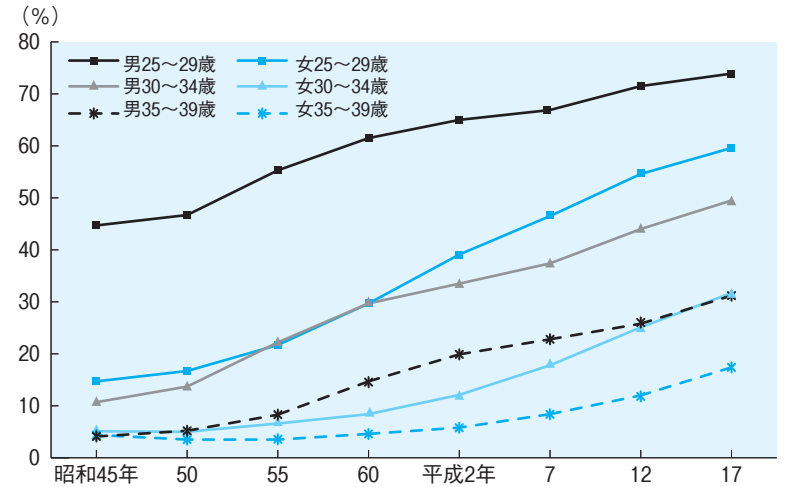
13 婚姻・離婚

単 位	*1 婚姻件数		*2 離婚件数		*3 平均初婚年齢・夫		*4 平均初婚年齢・妻	
	件	順位	件	順位	歳	順位	歳	順位
	全 国	707 734		253 353		30.4		28.6
北海道	28 271	9	12 294	7	29.8	29	28.4	13
青森県	6 067	32	2 768	27	30.0	22	28.1	29
岩手県	5 900	34	2 429	33	30.2	11	28.1	29
宮城県	12 217	14	4 522	14	30.0	22	28.3	16
秋田県	4 364	40	1 708	39	30.0	22	28.2	23
山形県	5 258	36	1 947	37	29.9	26	28.0	38
福島県	9 764	21	3 993	15	29.4	44	27.5	47
茨城県	15 286	12	5 627	11	30.2	11	28.2	23
栃木県	10 687	17	3 888	16	30.2	11	28.3	16
群馬県	10 054	20	3 837	18	30.2	11	28.3	16
埼玉県	39 399	5	14 584	4	30.8	3	28.9	3
千葉県	35 669	6	12 494	6	30.8	3	28.8	5
東京都	91 028	1	26 803	1	31.6	1	29.7	1
神奈川県	54 983	2	17 763	3	31.1	2	29.2	2
新潟県	10 838	15	3 365	24	30.3	9	28.4	13
富山県	5 024	38	1 699	40	30.3	9	28.4	13
石川県	5 887	35	1 863	38	30.1	20	28.3	16
福井県	4 017	43	1 327	45	30.0	22	28.2	23
山梨県	4 226	41	1 658	41	30.8	3	28.7	8
長野県	10 744	16	3 878	17	30.7	6	28.8	5
岐阜県	10 364	18	3 534	21	30.1	20	28.1	29
静岡県	20 716	10	7 352	10	30.2	11	28.2	23
愛知県	45 790	4	14 513	5	30.2	11	28.3	16
三重県	9 720	22	3 438	23	29.8	29	28.1	29
滋賀県	7 771	26	2 470	32	29.9	26	28.1	29
京都府	13 640	13	5 054	13	30.6	7	28.9	3
大阪府	51 689	3	20 737	2	30.4	8	28.8	5
兵庫県	29 980	7	10 808	9	30.2	11	28.6	10
奈良県	6 584	30	2 612	29	30.2	11	28.7	8
和歌山県	4 708	39	2 028	35	29.7	36	28.1	29
鳥取県	2 758	47	1 150	46	29.7	36	28.0	38
島根県	3 220	46	1 127	47	29.8	29	28.1	29
岡山県	10 072	19	3 597	19	29.6	38	28.0	38
広島県	15 913	11	5 503	12	29.8	29	28.2	23
山口県	7 008	27	2 697	28	29.6	38	27.9	44
徳島県	3 691	44	1 518	43	29.8	29	28.2	23
香川県	5 140	37	1 963	36	29.6	38	28.0	38
愛媛県	6 946	28	2 817	26	29.4	44	27.9	44
高知県	3 306	45	1 596	42	30.2	11	28.5	11
福岡県	29 419	8	11 121	8	29.9	26	28.5	11
佐賀県	4 139	42	1 489	44	29.6	38	28.0	38
長崎県	6 854	29	2 564	30	29.5	42	28.1	29
熊本県	9 100	23	3 450	22	29.4	44	28.0	38
大分県	6 136	31	2 378	34	29.8	29	28.3	16
宮崎県	5 923	33	2 485	31	29.3	47	27.9	44
鹿児島県	8 475	25	3 326	25	29.5	42	28.1	29
沖縄県	8 989	24	3 579	20	29.8	29	28.3	16

資料出所 *1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期
平成21年 毎年

年齢階級別未婚率



資料：「国勢調査」総務省統計局

婚姻件数は減少、離婚件数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」によると、平成21年の婚姻件数は、前年より1,205件減少して39,399件で、婚姻率は前年より0.2ポイント低下して5.6でした。

また、離婚件数は、前年より472件増加して14,584件で、離婚率は前年より0.06ポイント上昇して2.07でした。

年々上がる初婚年齢

平成21年の平均初婚年齢は、夫は前年より0.1歳上昇して30.8歳、妻は前年より0.2歳上昇して28.9歳でした。

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の未婚率は、25~29歳では男性73.9%、女性59.6%で、前回調査(平成12年)より男性は2.4ポイント、女性は5.0ポイント上昇しました。

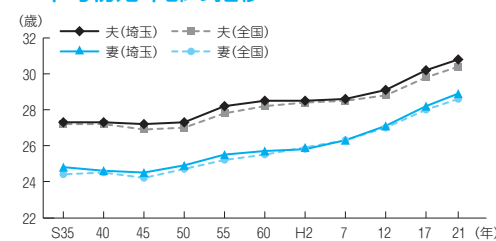
また、30~34歳では男性49.5%、女性31.7%で、前回調査より男性は5.5ポイント、女性は6.6ポイント上昇しました。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成21年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者数÷当該年齢(年代)の総人口×100

~平均初婚年齢の推移~



本県の平均初婚年齢は夫30.8歳、妻28.9歳で、昭和35年と比べると夫は3.5歳、妻は4.1歳上昇しました。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課

